



荘内中型学校教育の充実

【生徒のみなさん、保護者・地域の方々へ】

荘内中学校は「生徒に委ねる」教育方針で未来社会を生きる力の育成に取り組んでいます。その教育方針が広く話題になり、中国5県教育長協議会のみなさんをはじめ、県外から20地域以上から視察の方々がお見えになっています。

これも生徒のみなさんの「荘内中をもっと良くしよう」という思いの賜物だと思います。



荘内中の学校教育あれこれ

- 集団教育の良さを大切にして、切磋琢磨し、様々な活動を盛り上げています。
- 生徒会の自治活動を大切にしています。
 - ・学校は小さな社会、その社会を変えていくのは生徒会会員全員と意識して活動しています。
 - ・生徒会費（年間60万円程度）を生徒が運用（予算委員会）しています。
 - ・人権集会やルールメイキングサミットで学校運営を自分事として捉えるようにしています。
- みんなのためになる事であれば、誰でも校長に具申書を提出できます。
 - ・行事の提案やルールの提案等、様々な提案を具申して実現させています。
 - ・桜花祭等の大きなイベントでも、やる気があれば実施可能です。
- 学プロ（学校生活向上プロジェクトチーム）が委員会以外の活動を行っています。
 - ・荘内farmや自学力向上プロジェクト、つねたまちゃん活用プロジェクト等が自走します。
- 先行学習を大切にし、授業での協働的な学びを推進しています。
 - ・先行学習課題と週課題があり、スタディサプリやモノグサ等のアプリを活用しています。
 - ・授業で協同学習や自由進度学習等を進め、非認知能力の育成を進めています。
- SDGs探求学習、キャリア探求学習等を重視して年間をとおしてプレゼン等のアウトプット活動を推進しています。
- こみゅトレDXや起業家講演会、保育実習や赤ちゃん登校日、学年レク、全校レク等の特色ある取組を推進しています。
- Google系アプリ等を徹底活用し、学校全体のICT化、学びのICT化を進めています。
 - ・生徒の活動はClassroomやChatを重視して取り組んでいます。
 - ・学習用端末のルール「学習のために使う」を守り、生徒は自由に端末を駆使します。
 - ・端末を文房具のように活用し、新しい学びのかたちを実現しています。
- 担任を固定化せず、多くの先生方で生徒を指導支援し、ほっとルームやスマイル教室等の多様な学びの場を整備しています。（教員が多いから多様な支援が可能）

来年も荘内中はさらに進化していきます！応援よろしくお願いたします。

「荘内よろず相談窓口」

【生徒のみなさんへ】 一人で悩まず相談を！
校長室の相談です。秘密は守ります。
落ち込まないで発信しましょう。



荘内中の取組を紹介するため生徒会がXで配信しています。



【地域・保護者のみなさんへ】

荘内中学校では、生徒の活躍や様々な学校の方針等を随時、学校ホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

